

平成29年度  
自己点検評価 報告書

学校法人 江楠学園 佐賀工業専門学校

## 1 学校の教育目標

本校は「何処の場にあっても なくてはならぬ人となれ」という建学の精神のもと、先

進的な工業技術を座学、実習の両面から徹底的に指導するとともに、豊かな教養を身につけ、企業の即戦力となる責任感旺盛な人材の育成を目標とする。

## 2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

平成29年度では、以下について重点的に取り組み教育を行った。

### (1) 自動車学科

・ 二級自動車整備士6年連続100%を目指し、早期の意識付けを徹底します。

- ・ 就職率100%を目指し、1年次早めの会社説明会参加を指導します。
- ・ 企業から求められる人材教育は外部講師を招いて授業に取り入れます。

### (2) エアポートサービス学科

- ・ グランドハンドリング作業においての必要な資格取得と即戦力として活躍できる知識と技術を身につけるとともに、就職試験対策としての基礎学力の向上を図る。

## 3 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念・目標

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
学校における職業教育の特色を持っているか	④	3	2	1
社会経済のニュース等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、それぞれに対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

### ① 課題

自動車整備士養成校として、整備の基礎は勿論のこと電気・電子といった高度な技術に 対応できる技術者並びに社会の一役を担う人材を育成することが必要とされる。また、航空産業界では、オリンピック開催を控え併せてインバウンドの増加

にともない空港地上支援業務の要員確保が課題とされており、本校としては、真に即戦力となりうる質の高いグランドハンドリングスタッフを育成することが必要である。

② 今後の改善方策

進歩の絶えない自動車業界に対応するため、職業実践専門課程の特色を活かし最新の実務に関する知識・技術・技能等を習得できるよう関係業界団体との連携を強化し業界の求める人材育成に努める。エアポートサービス学科においては、座学と就職後の修業に直結する実習の質の確保に努めつつ、国際化にも対応した人材づくりを図ることが必要となる。併せて、社会人として求められるマナー・コミュニケーション能力の向上に向けての取り組みは、全職員一丸となり継続して実施する。

学校理念等の周知については、学校行事のあらゆる機会とホームページ等を活用し、これまで以上に周知を図ることに努めていく。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事等に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
システム化等により業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

教育活動等の公開については、学生募集の効果へも繋がることから、さらに発信をする必要がある。

② 今後の改善方策

授業風景など動画で閲覧できるホームページに改修し、適切な情報を公開することに努める。

(3) 教育活動

評 価 項 目	適切... 4、ほぼ適切... 3 やや不適切... 2、不適... 1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、人材育成や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確になされているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関係分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

専門分野における知識並びに技術力の向上に繋がる研修会等への参加を増す必要がある。

② 今後の改善方策

両学科とも知識と指導力の向上に繋がる関係団体・企業等が開催する各種研修・勉強会に引き続き積極的に参加する。

(4) 学習成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生等の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

① 課題

自動車学科の国家資格以外の資格取得に対する対策が求められている。  
卒業生の活躍・評価を把握するための方法を模索する必要がある。

② 今後の改善方策

退学者の低減に向けた対策としては、クラス担任をはじめ全職員で、これまで同様の個人面談、家庭訪問などを行い早期に問題と向き合い家族との連携強化を図る以外の方策はないと思われるため、個人面談、家庭訪問などを引き続き行っていく。

資格取得については、採用試験時のアピールは勿論のこと、その必要性について理解させ、学生自らが積極的にチャレンジする取り組みを構築する必要がある。

卒業後の把握については、夏休み等を利用し就職先の企業訪問等を行い卒業後の状況を積極的に把握する。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生へのアフターフォロー（支援体制）はあるか	④	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

① 課題

学生相談の体制整備

② 今後の改善方策

学生相談は、学生に対して担当者の周知がまず必要であると思われる。また、クラス担任との連携を深める体制づくりを確立させる。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

2年次のインターンシップを取り入れられないか。

② 今後の改善方策

現在1年次に取り入れているが、就職内定企業と連携しインターンシップを受け入れていただけるか調整検討する。

エアポートサービス学科は、海外研修から国内最大の利用者数を誇る東京・成田国際空港の空港見学会に変更をした。校内では体験することができない分野の研修であり充実した内容であった。今後も国内での研修とする。

(7) 学生募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
校納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

少子化による受験対象者の減少（2018年問題）並びに高校生に対する求人倍率の向上など、募集環境は一段と厳しい中であって募集活動を適正に如何に行うか具体策を早期に提示していかなければならない。3年生に向けた取り組みと同様に1・2年生の体験入学への参加促進を図る必要がある。

② 今後の改善方策

適正な募集活動の指標は、学生の定員確保である。このため、これまでの募集から早期にアプローチを開始し、繋ぎ止めるプランへシフトする。各種説明会・資料請求者等からオープンキャンパスに参加する仕組みの確立と受験対象者・保護者に対する魅力あるホームページにリニューアルし広報の大きな柱とする。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1

予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適切に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

学生の充足率が財務に直結することから全職員の課題として、より良い学校づくりに併せて学生募集に取り組まなければならない。

② 今後の改善方策

本校の特色を効果的に発信し、募集活動と連携させる必要がある。

財務については学校法人において監査並びに財務公開まで適切に行われている。

(9) 法令等の順守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適…1			
法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

法令や設置基準は遵守されており、適正に運営されている。また自己評価に関しては、公開まで適切に行われており特に問題はない。

② 今後の改善方策

問題点の改善に取り組むことが、自己点検評価の最大の狙いであるため、諸所の問題解決のために、引き続き全職員の意識改革が必要となる。

平成29年度  
学校関係者評価報告書

学校法人 江楠学園 佐賀工業専門学校

## 1. 学校関係者評価の目的

学校法人江楠学園佐賀工業専門学校における学校関係者評価は平成19年に学校教育法及び学校教育法施行規則の改正により、自己評価、学校関係者評価の実施・公表、評価結果の設置者への報告に関する規程が新たに設けられたことを受け「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って以下のことを目的として実施する。

- ① 自己点検評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己点検評価結果の客観性・透明性と併せて信頼度を高める。
- ② 学生・卒業生、関係業界、中学校・高等学校、保護者・地域住民、所轄官庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する方々からの理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

## 2. 学校関係者評価委員の構成

学校評価委員は、以下の人員で構成する。

- ・ 関連業界等関係者 4名
- ・ 教育に関し知見を有する者 1名
- ・ 卒業生 1名

## 3. 学校関係者評価の実施方法

平成30年5月16日（水）

佐賀工業専門学校 多目的室

参加者 委員6名 事務局7名

学校関係者評価委員の皆さまには、本校のホームページ上で公開されている学校情報等で事前に理解を深めていただいたうえで、平成29年度自己評価の結果をもとに、意見交換を通して得られた意見を取りまとめた。

## 4. 学校関係者評価委員からの意見並びに特記事項

### (1) 教育理念・目標

特記事項：

- ・ 電子・電気といった高度の技術を求められる自動車学科においては、関係業界団体との連携を図り最新実務の修得が必要となる。
- ・ エアポートサービス学科においては、座学と実習の充実に努めていく。(校内実習の利点を生かし即戦力を育成する。)
- ・ 学校理念を継続してあらゆる機会を利用し周知していくことが求められる。

委員からの意見：特になし

### (2) 学校運営

特記事項：

- ・ ホームページのリニューアルに合わせて、今後より適切な情報公開に努める。

委員からの意見：特になし

### (3) 教育活動

特記事項：

- ・ 専門分野の資質向上に繋がる各種研修会等への参加により教職員の質の確保を図る。
- ・ 自己点検の際に評価項目内容について十分な説明を行的確な評価を得る。

委員からの意見：

- ・ 現状に満足しないで、常にステップアップする教育活動を続けてほしい。

### (4) 学習成果

特記事項：

- ・ 資格取得で自動車整備に関する取得以外での合格率の向上に向けた対策が必要である。
- ・ 退学者の低減策としては、引き続き緊密な保護者との連携を重視し取り組む。

委員からの意見：

- ・ その他の資格取得の合格率の向上対策の具体策はどのようなものか？  
(学校からの説明：ゼロ校時・放課後を利用し特別講義により合格率の向上を図る。)
- ・ 退学者の理由について  
(健康面並びに就学意欲の低下であった旨を報告し、引き続き退学者の皆無を目指す。)

### (5) 学生支援

特記事項：

- ・ 学生相談担当者とクラス担任等との連携を図る。

委員からの意見：

- ・ 学生に対する経済的な支援体制とはどのようなものがあるのか。  
(学校からの説明：理事長賞奨学生制度をはじめ各種の制度について説明)

### (6) 教育環境

特記事項：

- ・ 自動車学科2年次でのインターンシップの実施については、授業時間確保の面から現行通り1年次の早期に行い就職に向けての意識改革の一環としたい。
- ・ エアポートサービス学科の国内研修(羽田空港・成田空港)は、参加学生からも大変効果のある研修であったとレポートが提出されおり今後も継続する。

委員からの意見：特になし

### (7) 学生募集

特記事項：

- ・ 募集対象者に対するアプローチを1年生次から積極的に取り組んで行く。
- ・ 国家資格取得率・就職率の高さ併せて少人数制のメリットを前面に打ち出す。
- ・ 休み期間中等を利用しての出身高校への母校訪問を奨励する。